

4. 地方創生

施策名：プロフェッショナル人材事業

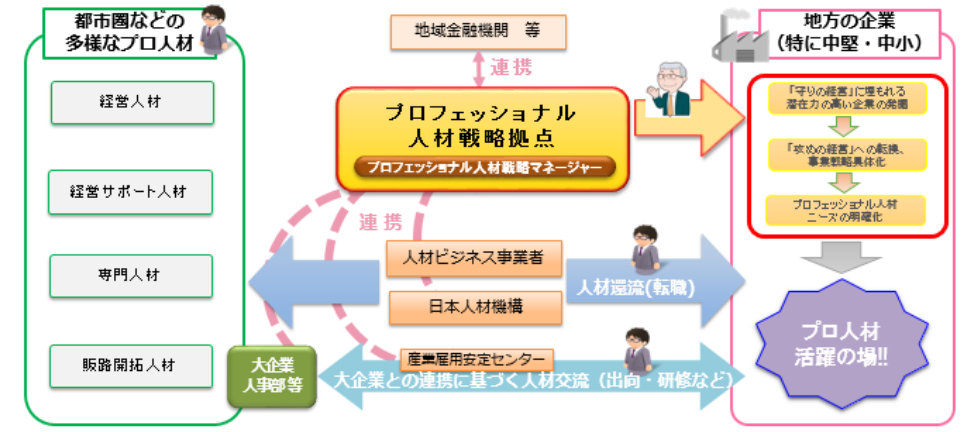
【30年度概算要求額：199百万円（新規）】

施策概要・目的

- 地域資源・地域特性を活用した「しごと」づくりや、地域経済全体を牽引する事業等を後押しするとともに、プロフェッショナル人材を活用する（「経済財政運営と改革の基本方針2017」）ことを推進するため、地域企業に対して、成長可能性への気づきを喚起するとともに、成長に必要なプロフェッショナル人材の採用を支援する。
- こうした地域企業への支援を通じ、地域全体としての成長を促進することで、地域に新たに安定した質の高い雇用を創出し、「ひと」と「しごと」の好循環を生み出していく。

施策イメージ・具体例

- 各道府県に整備された「プロフェッショナル人材戦略拠点」の活動を支援することで、地域金融機関等と連携しつつ、地域企業の経営者に対し、新事業や新販路の開拓等の「攻めの経営」への転換を促し、成長を実現するためのプロフェッショナル人材の採用を支援する。



期待される効果

- プロフェッショナル人材の地方還流の拡大と、プロフェッショナル人材の活用による地域企業の生産性向上・経営改善等が期待され、個々の企業の成長を通じ、地域全体の活性化、「稼ぐ力」の向上が期待される。

4. 地方創生

施策名：地方創生カレッジ事業

【30年度概算要求額：632百万円（前年度700百万円（27年度補正））】

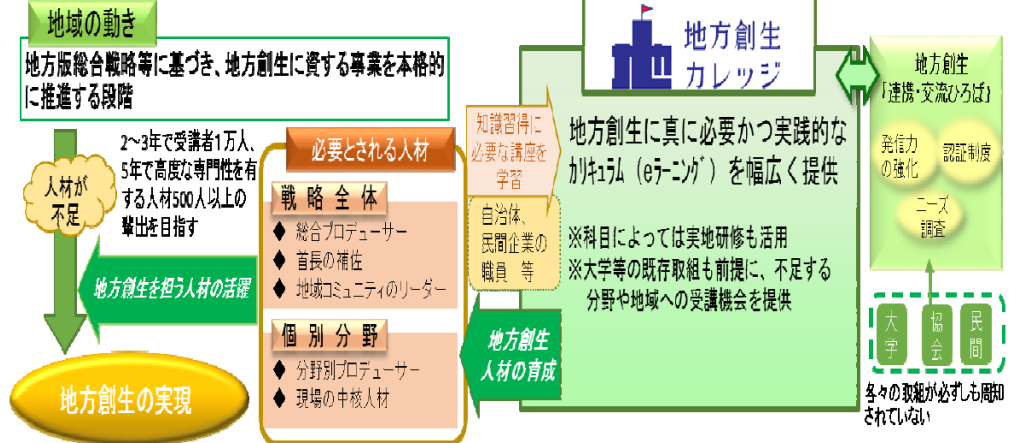
施策概要・目的

- 「経済財政運営と改革の基本方針2017」
- 4. 地方創生、中堅・中小企業・小規模事業者支援
- (1) 地方創生

<概要・目的>

地方創生を推進していくため、必要な人材の確保・育成を図るため、実践的知識を提供する「地方創生カレッジ」を開講（平成28年12月）。複数の養成機関（大学や事業者等）が作成した学習コンテンツをeラーニング形式等で提供し、全国各地の幅広い年齢層・職種の方々が受講している。

施策イメージ・具体例



- 「地方創生カレッジ」は28年12月に開講。地方創生に真に必要かつ実践的なカリキュラムをeラーニング形式で幅広く提供し、地域における地方創生人材の育成に繋げていく。
- 29年度も講座の充実化等により事業推進を図る。

期待される効果

- 地方創生に関し高度な専門性を有する人材をはじめ、地域のコミュニティリーダー、各事業分野の専門家等、本事業により幅広く人材確保・育成を図ることで、各地域における地方創生の実現を支援する。